別記(一)

星製薬爭議の負債諸君に告ぐ

星製薬爭議負債諸君！

諸君の斗爭に敬意を表し、なほ自同盟員をすることを許しそく此告ます。

さつて諸君の爭議はいかにして起つたか。信ぜぬ者は、不幸解雇二百閉鎖。さうした事実を並べ立てるだけなら、ブル新聞の記事でもやつてのけるだらう。我々はそれ以上に進んで、敢然なぜこんなことをせねばならなくなつたか、その真意を見極めなければならぬ。資本家の搾取の犠牲者としての我々は、新聞紙上をにぎわす事件の背後に潜む真の原因を探ねてみる。

資本家は、すこぶる卑劣な手段を弄して、我々の働き盛りの青年を、ことごとく、ソフ、取扱ひ、ストライキ、ロックアウトを！ 会社の多額の利益をもとは大嘘で、それを多くの有力者の後盾を得て積極的な攻勢に出てゐる、ことが明らかになつた。同時に諸君に対する政治的弾圧ブリが表面化してゐるのだ。

現に諸君の爭議はいかに指導されて来たか。大山氏の如きかの偉なる席の飾り物であり、関屋某の如き同盟指導者であることは、今又説明するまでもないことだ。ではこの指導者はどうか。

我々、東京市二、この三氏はブルジョアのごとき解党主義者として、労働者は絶対に忘れることの出来ない憎しみをもつてゐる。

現在、日本はすべて駄目な社会民主主義者と称する奴らはギマンされない。それをゴマカさうとするなら口先だけは革命的言辞を弄するぬかび臭い、とりみのでは支配階級の犬目が不にかなくバツテキされたのか奴らの解党主義者どもだ。見よ。かつての同志が牢獄の中で死んだ彼らは、錆のような固い言葉をミジンも抵抗ずんかんなつて

みるのを上にしやあ〳〵と指導者は気取りで納まりかへつてゐる奴らの腐々しいツラを。奴らこそ銘文が出、大山